

厚生労働省指針13物質
 文部科学省基準6物質
非配合

F★★★★

環境配慮型

環境配慮型エポキシ樹脂系 中塗り材

フローンベースエポ

環境に配慮した下地調整が
低コストで実現できます!

用途

1. 塗床材用の厚付け中塗り材 (0.2mm~2mm)
2. 臭気、シックハウスが懸念される
工場・倉庫等の床の下地調整材
3. 環境に配慮したTXフリータイプ

● 容量・配合比

品名	容量			配合比(重量比)	
	A液	B液	セット	A液	B液
フローンベースエポ	18kg	2kg	20kg	9	1

● 性状・一般物性

試験項目	結果	試験条件
外観 A液 B液	灰色粘稠液(N-60相当) 褐色粘稠液	
混合粘度	4500mPa・s	23℃ B型粘度計
硬さ	80	JIS K 6253 ショアード
ホルムアルデヒド放散等級	F☆☆☆☆	JIS K 5601-4-1

※試験結果は、弊社における試験に基づくもので、保証値ではありません。

● 厚生労働省指針13物質一覧

分類	成分名	フローンベースエポ	
VOC類	トルエン	非配合	※
	キシレン	非配合	※
	エチルベンゼン	非配合	※
	スチレン	非配合	※
	テトラデカン	非配合	
	パラジクロロベンゼン	非配合	※
	フタル酸ジニルマルブチル	非配合	
SVOC類	フタル酸ジ2エチルヘキシル	非配合	
	クロルピリホス	非配合	
	ダイアジノン	非配合	
アルデヒド類	フェノブカルブ	非配合	
	ホルムアルデヒド	非配合	※
	アセトアルデヒド	非配合	

※は文部科学省基準6物質

● 乾燥性

温度		10℃	23℃	30℃
可使時間	夏型	—	30分	25分
	冬型	40分	20分	—
上塗可能時間		16時間	12時間	8時間

※冬型:使用範囲5℃~15℃

● 上塗り適性

上塗り塗料	適性	上塗り塗料	適性
フローン50TXフリー	○	フローンクイックF	○
フローンフルトップ	○	水性フロアー	○
フローンアクアエポ	○	フローンアクアファースト	○
フローンヌルサット	○		

● 下塗り適性

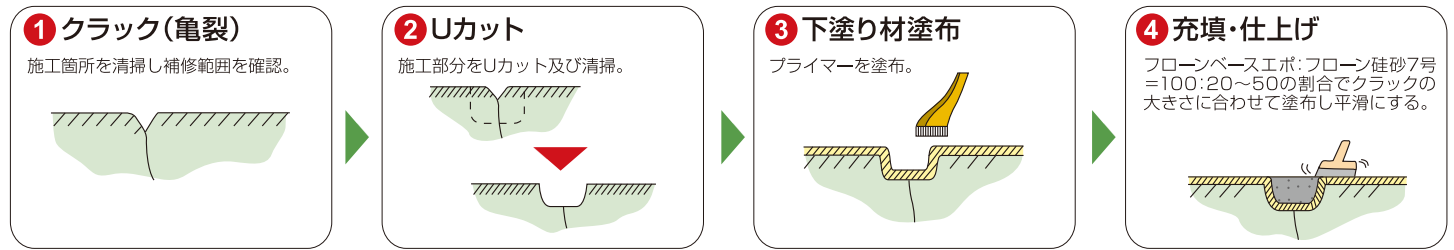
下塗り材	付着性
フローンエコブラ速乾	○
フローンフィラーローラー用	○

※塗り替え時は、旧塗膜をポリッシャー等で必ず研磨して下さい。

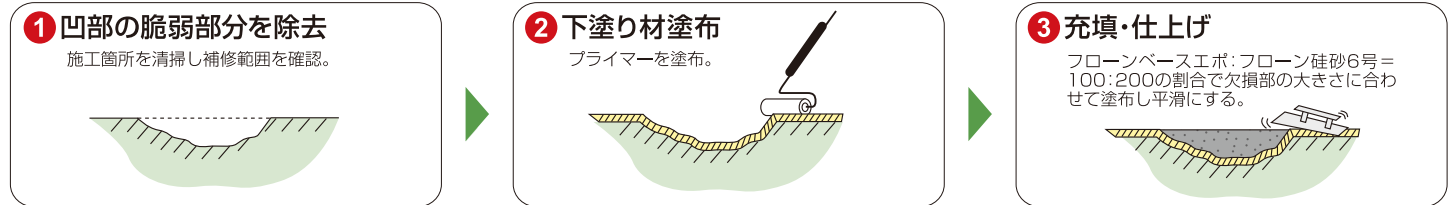
HIGASHI NIPPON PAINT PRODUCTS

■ クラックの処理方法例

● 1mmから3mm程度のクラック



● 欠損部の補修



■ 標準工法 ● フロン50TXフリー1.5mm厚コーティング工法(総合塗膜厚1.5mm) フロンベースエポ1セットあたりの塗装面積50㎡

工 法 名	工程	材 料 名	使用量 kg/㎡	上塗可能時間 (23℃)	備 考
<p>①フロンエコブラ速乾 ②フロンベースエポ フロン硅砂7号 ③フロン50TXフリー</p>	1	素地調整	-	-	-
	2	フロンエコブラ速乾	0.15	3~48時間	A液:B液=1:2(重量比)の割合で計量、混合、電動攪拌機にて充分攪拌後、中毛ローラー、ハケにて塗布。
	3	フロンベースエポ フロン硅砂7号	0.4 0.1	12~48時間	A液:B液=9:1(重量比)の割合で計量、混合、電動攪拌機にて充分攪拌したフロンベースエポを4に対し、フロン硅砂7号を1(重量比)の割合で混合し、コテにて塗布。
	4	フロン50TXフリー	1.5	24時間 (軽歩行開放時間)	A液:B液=5:1(重量比)の割合で計量、混合し、電動攪拌機にて充分攪拌後、コテにて塗布。

■ 施工上の注意事項 ■

- 下地は、砂、ゴミ、ホコリ等を完全に除去して下さい。また、新設コンクリート、モルタルの表面には、レイタンス(遊離アルカリ)による脆弱層が形成されるため、密着不良の原因となります。必ず、ワイヤー付きポリッシャー等でレイタンス層を完全に除去して下さい。
- コンクリート・モルタルの養生不足は、水分の影響によりフクレ、硬化不良を、また、アルカリの影響により密着不良を招く場合があります。コンクリート・モルタルは打設後、常温乾燥で夏期3週間以上、冬期4週間以上の期間が必要です。目安として、含水率が高周波水分計ケット社製HI-500・HI-520で測定し、コンクリートレンジの表示値が5%以下、かつpH9.5以下になってから施工して下さい。また、降雨直後で下地が水分を含んでいる場合は、2日以上乾燥させて下さい。
- 旧塗膜がある場合は、旧塗膜の密着不良部分を除去して下さい。また、必ず下地調整を行ない、異物を除去して下さい。油泥、油污れがある場合は、フロンオイルクリーナーSPで洗浄し、完全に除去して下さい。
- A液とB液の混合と同時に反応が進み、次第に粘度が上昇し、ゲル化しますので、使用可能時間(ポットライフ)内に使い切るようにして下さい。使用可能時間(ポットライフ)は30分(23℃/夏型)です。施工時の温度・施工面積・作業人数等を考慮して、無駄のないように材料の配合をして下さい。
- ご使用になる環境は充分に考慮して適正な材料と施工法を決定して下さい。
- 溶剤希釈は基本的に行わないで下さい。冬期に作業性改善の為に希釈する場合は、フロン55用希釈剤を使用し、2%(重量比)を限度とします。
- 気温5℃以下、湿度80%以上では施工しないで下さい。硬化時間、硬化後の性能は、施工時の温度に大きく影響されます。

10℃以下	15℃~25℃	30℃以上
硬化後退 (カブリ、しわ、軟化等発生)	最適	硬化促進 (ポットライフ短縮)

- 常時、水を使用される部位については、あらかじめ下地モルタル等に水勾配をつけて下さい。
- 施工時は引火、爆発、中等の事故防止のため充分に換気をし、有機ガス用防毒マスク、保護メガネ、手袋等保護具を着用して下さい。発火原因となる電気溶接、ガス溶断との並行作業を避けて下さい。
- 直接皮膚に触れないよう充分に注意して下さい。もし触れた場合はウエス等で充分に拭き取り、中性洗剤で洗って下さい。
- 材料の保管、取り扱い、消防法、労働安全衛生法、その他に基づき充分な管理をお願い致します。
- 動植物に影響を及ぼす可能性がありますので、施工時および施工後の換気を充分に行なって下さい。
- 塗料、塗料容器、塗装具を廃棄する時は、産業廃棄物として処理して下さい。

引火性あり	警 告	有害性あり	感作性あり
業 務 用	<p>(注意事項) 1. 通常の塗料に比べて幾分毒性が強く、吸入したり皮膚に触れたりすると中毒やかぶれ、また、重い健康障害を起こす恐れがありますので、取扱いについては、容器に表示された注意事項を守って下さい。</p> <p>2. アレルギー性等の特異体質、皮膚過敏症や呼吸器系疾患を有する人は、取扱いを避けて下</p>		